

# キッズプロジェクト検討小委員会における学習支援活動について

国土交通省関東地方整備局 宮本雄一  
(株)建設技術研究所 ○宇井正之

## 1. まえがき

土木学会 教育企画・人材育成委員会 キッズプロジェクト検討小委員会は、その前身である「生涯学習小委員会」として平成13年度に発足した。生涯学習小委員会は、その活動目的を、「継続教育実施委員会への資料提供を目的とした調査を行うこと」、「生涯学習というテーマで土木学会の抱える問題にどのような貢献ができるかを調査しその仕組みを制度化すること」とし、特に小・中学校における「総合的な学習の時間」、「理科」、「社会科」の各教科単元に対応した学習支援活動（土木分野に関する学習支援活動）を行うとともに、土木と生涯学習のかかわりに関する調査研究を行ってきた。平成21年度からは、初等学習（初等教育）に絞った支援活動とその仕組みの検討に重点を置き、小委員会の名称を「キッズプロジェクト検討小委員会」（以下、「当小委員会」という。）に変更、その活動目的も、生涯学習小委員会当時の活動実績を踏まえ、「地域拠点の形成検討」、並びに「連絡協議会の検討」を行うこととし、現在、活動を行っている。ここでは、当小委員会における学習支援活動を通して得られた成果について、平成20年度に行った学習支援活動を中心に述べる。

## 2. 学習支援活動の実施例

当小委員会が実施している学習支援活動は、その活動を通じて、土木学会としての学習支援活動のあり方を明確にしていくとともに、土木学会のみならず他機関との連携による支援活動のあり方、さらには、初等教育に有効な土木分野に関する学習教材を作成することを狙いとしている。平成20年度に実施した学習支援活動の実施例（日光市立落合東小学校、足利市立大月小学校の2校）をそれぞれ表-1及び表-2に示す。

実施例に示した小学校（2校とも栃木県内）へは、いずれも土木学会関東支部栃木会と連携して学校側へアプローチを行い、事前に学校側と協議し、支援活動内容を決定した。また、支援活動終了後、感想と併せ、改善点や次年度の意向について学校側へ確認を行った。その結果、両校とも、「自然災害体験は、疑似体験ではあるものの自然災害の恐ろしさを体感できたとともに、災害に対する心構えが児童に理解し易い内容であった」、「水の汚れ調べは、様々な方法で水を調べることができることが理解でき、また、水を汚さないために各自が出来ることが資料として整理され、理解し易い内容であった」との感想があり、「次年度以降も同様の学習を実施していきたい」との意向を伺った。

表-1 日光市立落合東小学校における学習支援活動の内容

実施年月日	平成20年11月12日（水）、14日（金）	
対象学年	3年生（47名）、4年生（39名）（5・6年生は自然災害体験車のみ）	
対象教科	総合学習	
学習のねらい	①地震や洪水などの自然災害が起きた場合にどうすればよいか、緊急時に使うものはどんなものが必要か、実習を通して考える。 ②身近な水の汚れ具合を調べることにより、水を汚さないためにはどうしたらよいかなど環境問題について考えることができる。	
支援活動内容	【自然災害】 ・火砕流と土石流を3D映像で体験（自然災害体験車）。 ・災害の要点を整理した資料を配布、説明。 ・非常持ち出し袋を作成、説明するとともに、資料を配布。 【水の汚れ調べ】 ・サンプル水を用いて、「水の汚れ」について説明。 ・「体」、「道具」、「生き物」による水の調べ方を説明。 ・身近な水（武子川、行川、水道水等）を用いてパックテストを実践。 ・水を汚さないための行動について整理した資料を配布、説明	
支援協力	国土交通省関東地方整備局	

キーワード 土木教育、自然災害、水質、総合的な学習の時間、環境学習

連絡先 〒103-8430 東京都中央区日本橋浜町3-21-1(日本橋浜町Fタワー) TEL: 03-3668-4017

表－２ 足利市立大月小学校における学習支援活動の概要

実施年月日	平成21年2月6日（金）	
対象学年	6年生（21名）	
対象教科	●●●	
学習のねらい	●●●	
支援活動内容	<p>【自然災害】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火砕流と土石流を3D映像で体験（自然災害体験車）。</li> <li>・災害の要点を整理した資料を配布、説明。</li> <li>・非常持ち出し袋を作成、説明するとともに、資料を配布。</li> </ul> <p>【水の汚れ調べ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サンプル水を用いて、「水の汚れ」について説明。</li> <li>・「体」、「道具」、「生き物」による水の調べ方を説明。</li> <li>・身近な水（長途路川、水道水等）を用いてパックテストを実践。</li> <li>・水を汚さないための行動について整理した資料を配布、説明</li> </ul>	
支援協力	国土交通省関東地方整備局、足利工業大学都市環境工学科	

### 3. 支援活動の評価

### 4. 今後の支援方法